

【国立市】
1人1台端末の利活用に係る計画（令和6年度～10年度）

1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- ① **【個別最適な学び】**
一人一人の学習進度や理解度に合わせて、最適な学習内容や方法を提供します。
- ② **【協働的な学び】**
児童・生徒同士が互いに教え合い、学び合うことで、コミュニケーション能力や協調性を育みます。
- ③ **【探究的な学び】**
児童・生徒が自ら課題を設定し、情報を収集・分析し、解決策を探る力を養います。
- ④ **【創造的な学び】**
ICTを活用して、表現したり、アイデアを生み出したりする力を高めます。
- ⑤ **【主体的な学び】**
児童・生徒が自らの学習を管理し、計画的に学習を進める力を育成します。

2 GIGA第1期の総括

国立市においては、GIGA第1期では、約5,000台の端末導入、ネットワーク環境整備、クラウド学習システム導入を実現しました。

また、教育委員会の取組として、年間2・3回の情報教育推進委員会における操作スキルアップ研修や情報共有等を行い、他地区のGIGAスクール実践事例等を情報伝達するとともに、1人1台端末の授業や校務等での効果的な活用の仕方について協議を行いました。

一方で、以下の課題が明らかになりました。

- ① **【ネットワークの脆弱性】**
回線速度が遅く、動画視聴やオンライン学習がスムーズに行えない場面がありました。
- ② **【利活用の学校間格差】**
教員のICT活用スキルに差があり、端末の活用状況に偏りがありました。
- ③ **【端末の管理・運用】**
端末の故障や紛失、ソフトウェアの更新などに課題がありました。

3 1人1台端末の利活用方策

① 1人1台端末の積極的活用

ア 【授業での活用】

各教科の授業において、1人1台端末を積極的に活用し、個別最適な学び、協働的な学び、探究的な学び、創造的な学びを実現します。

イ 【家庭学習での活用】

家庭学習においても、1人1台端末を活用し、授業の復習や予習、オンライン学習等を行います。

ウ 【校務での活用】

教員の校務においても、1人1台端末を活用し、業務効率化を図ります。

② 個別最適・協働的な学びの充実

ア 【学習支援ツールの活用】

個別学習や協働学習を支援する様々なツールを活用し、学びの質を高めます。

イ 【教員研修の実施】

教員のＩＣＴ活用スキル向上のための校内研修を充実させ、全ての教員が１人１台端末を効果的に活用できるようにします。

ウ 【学習データの分析】

学習データを分析し、児童・生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導につなげます。

③ 学びの保障

ア 【ネットワーク環境の強化】

回線速度の向上やセキュリティ対策の強化を図り、安定したネットワーク環境を構築します。

イ 【端末の管理・運用体制の整備】

端末の故障や紛失、ソフトウェアの更新などに対応できる体制を整備します。

ウ 【情報モラル教育の推進】

児童・生徒の情報モラルを育成し、安全なＩＣＴ利用を促進します。

エ 【学習機会の提供】

個別な支援を要したり、不登校状態であったりする等、様々な困難を抱える児童・生徒に対し、実態に応じ、１人１台端末を活用した支援や学習機会を提供します。